

令和元年5月10日	
資料提供	
担当課	有田振興局農林水産振興部農業水産振興課
担当者	普及グループ 上山
電話(直通)	0737-64-1273

平成31年産有田地方かんきつ類の着花状況調査結果

調査者：JAありだ、JAグループ和歌山農業振興センター、
和歌山県農業共済組合、果樹試験場、県庁果樹園芸課、
近畿農政局和歌山支局、有田振興局農業水産振興課

調査日：令和元年5月8日（水）

平成31年産かんきつ類の着花状況は、総じて少ない状況であったものの、園地や樹によるバラツキが見られた。

また、満開期はほぼ平年並みで、新梢の発生は良好であった。
各品目別の詳細は以下のとおり。

（1）温州みかん（121園調査）

①新梢の発生は良好で、着葉数、樹勢とも中程度であった。

〔発芽期、展葉期とも平年並み（早生品種、果樹試験場調べ）〕

②満開期は極早生で5月10日頃（平年より2日遅い）、早生で5月10日頃（平年並み）、普通で5月11日頃（平年並み）と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、極早生で10.3、早生で8.2、普通で8.1であった。

（2）清見（12園調査）

①新梢の発生は良好で、着葉数もやや多く、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月13日頃（平年より1日遅い）と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、9.3であった。

（3）不知火（13園調査）

①新梢の発生は良好で、着葉数もやや多く、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月11日頃（平年比1日早い）と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、10.2であった。

（4）はっさく（12園調査）

①新梢の発生は良好で、着葉数もやや多く、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月12日頃（平年比1日早い）と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、10.1であった。